

(2026年10月2日発表)

10月11日 清水区興津地区での静岡・釜山文化交流事業の開催

(大石副市長 出席)

【趣旨・背景】

- ・静岡市は、江戸時代に朝鮮国から日本へ派遣された外交使節「朝鮮通信使」を通じた縁を背景に、韓国・釜山広域市と2015年から文化交流を継続しています。
- ・今回、JR 興津駅から清見寺までの朝鮮通信使再現行列に、釜山広域市の芸能団体が参加し、韓国の伝統的な打楽器演奏「サムルノリ」などを披露します。また、清見寺では、朝鮮通信使の故事にちなんだ催しとして国書交換式を開催します。式には、日韓の代表者が徳川家康公と朝鮮通信使に扮して参列します。日韓の交流の歴史や静岡市と韓国・釜山のつながりを感じることができる催しです。
- ・当日は、SHIZUOKA野外芸術フェスタ実行委員会が主催する、本市初となる日韓共同制作のストリートシアター作品を上演します。この作品は、本市が進める「演劇・ストリートシアターによる文化芸術創造拠点の形成」の一環として制作するもので、2026年9月から釜山で日韓のアーティストによる共同創作を進め、10月からは静岡市内で滞在制作に取り組んでいます。作品は、10月11日(日)に興津駅から清見寺に至る沿道を舞台とした野外パレード形式で世界初演を迎えます。

【開催概要】

日時:2026年10月11日(日曜日) ※時間は各プログラムのとおり

会場:清水区興津地区

内容:詳しくは、市ホームページ(<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s6725/s013244.html>)をご覧ください。

- ・興津地区の市民と韓国・釜山広域市の芸能団体による朝鮮通信使再現行列(13時から14時まで)
- ・ストリートシアター作品「静岡×釜山 国際共同制作プロジェクト作品」上演(13時から14時まで)
- ・朝鮮通信使 国書交換式(14時から15時まで)

朝鮮通信使 国書交換式の出席者:

財団法人釜山文化財団代表理事 宋 成俊(ソン・ソンジュン)

駐横浜大韓民国総領事館総領事 金 昌年(キム・チャンニョン)

静岡市副市長 大石 貴生

【SHIZUOKA野外芸術フェスタ実行委員会】

野外芸術の振興や地域活性化を目的に、静岡市や静岡県(静岡県舞台芸術センター(SPAC))などで構成する組織です。現在、文化庁の助成のもと、歴史的繋がり深い韓国(釜山文化財団)と国際共同制作プロジェクトを推進しています。

【取材について】

- ・事前申込・事前連絡は不要です。当日は、直接各会場にお越しください。
- ・報道機関用の駐車場はありません。取材いただける場合は、公共交通機関をご利用ください。

【問い合わせ先】

「朝鮮通信使再現行列について」

観光文化・市民局 歴史文化課(静岡庁舎 新館16階) 担当者:國島・松下 電話:054-221-1085

「ストリートシアターについて」

観光文化・市民局 文化政策課(静岡庁舎 新館16階) 担当者:杉山・近藤 電話:054-221-1228